

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	98,878	2.3	15,685	3.5	17,237	0.5	9,898	△1.0
25年3月期第3四半期	96,621	0.7	15,155	3.3	17,160	7.6	9,994	20.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,686百万円 (△23.4%) 25年3月期第3四半期 11,346百万円 (33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	165.74	—
25年3月期第3四半期	161.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	160,968	105,117	64.6
25年3月期	159,479	100,315	62.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 103,989百万円 25年3月期 99,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	0.9	19,000	3.3	20,400	△8.4	12,000	△6.4	200.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	59,725,000株	25年3月期	59,725,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,714株	25年3月期	2,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	59,722,286株	25年3月期3Q	61,841,275株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日、以下「当期間」という。）における業務用カラオケ事業では、各市場のニーズにきめ細かく対応する商品と営業力により、全市場に向けたDAM拡販に注力いたしました。また、カラオケ・飲食店舗事業では、既存店舗の集客や顧客満足度向上に取り組むとともに、幅広い顧客層に対応するべく業態の多様化と拡大に注力いたしました。音楽ソフト事業におきましては、特色ある話題の作品を発売いたしました。

以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業は減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当期間の売上高は98,878百万円（前年同期比2.3%増）となりました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業が減益となりましたが、業務用カラオケ事業とその他の事業が増益となり、営業利益が15,685百万円（同3.5%増）、経常利益は17,237百万円（同0.5%増）となり、ともに過去最高を更新いたしました。一方、四半期純利益は法人税等の増加により9,898百万円（同1.0%減）となりました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	96,621	98,878	2,257	2.3%
営業利益	15,155	15,685	529	3.5%
経常利益	17,160	17,237	77	0.5%
四半期純利益	9,994	9,898	△95	△1.0%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、大手チェーンの出店意欲が旺盛なデイ（カラオケルーム）市場やナイト市場などに向けてフラッグシップ商品「L I V E D A M G O L D E D I T I O N」を中心に拡販に努めました。また、成長分野であるエルダー市場をさらに深耕いたしました。これによりDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加しております。さらに、新たな市場開拓の試みとして、10月に中国（中華人民共和国）において中国市場専用機「P a r t y D A M」を発売し、海外におけるカラオケサービスを開始いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	48,573	50,323	1,749	3.6%
営業利益	9,644	10,714	1,069	11.1%

(カラオケ・飲食店舗)

当事業におきましては、カラオケルーム「ビッグエコー」のマルチブランド展開に加えて、カラオケルーム事業開始25周年企画、コンセプトルームや有名アーティストとのコラボルーム企画などにより、集客と顧客満足度の向上に努めるとともに、地域や客層などに合わせた飲食店舗との複合出店戦略を積極的に推進いたしました。また、飲食店舗の機動的な業態変更により、市場や顧客ニーズの変化に迅速・的確に対応いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	34,450	35,657	1,207	3.5%
営業利益	5,780	5,462	△317	△5.5%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、大晦日に向けて国民的な話題を提供した「北島三郎」や根強い人気を持つ「水森かおり」などの演歌作品、「ソナーポケット」などJ-POP系作品、話題のスタジオジブリ映画「風立ちぬ」や「かぐや姫の物語」のサウンドトラックなど、それぞれの音楽ソフト子会社の特色を活かした作品を発売いたしました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	7,787	7,550	△237	△3.0%
営業利益	960	642	△317	△33.0%

(その他)

当事業におきましては、主に、市場や顧客層においてカラオケや音楽事業とシナジー効果のある事業を展開しております。BGM放送事業では、7月にスタートした光回線を活用した「スターデジ光」サービスの拡販を行い、携帯電話向けコンテンツサービスにおいてはコストの低減に努めました。

(百万円)

	前第3四半期 累計	当第3四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	5,809	5,347	△462	△8.0%
営業利益	960	1,016	55	5.8%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,488百万円増加し、160,968百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が769百万円増加し、現金及び預金が8,572百万円及び、受取手形及び売掛金が1,574百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、投資有価証券が、7,406百万円、土地が1,605百万円及びカラオケ貸貸機器が1,141百万円それぞれ増加し、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが162百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,312百万円減少し、55,851百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が628百万円増加し、その他に含まれる未払金が2,496百万円及び未払法人税等が1,569百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が729百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ4,801百万円増加し、105,117百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加9,898百万円、利益剰余金の配当による利益剰余金の減少3,881百万円及びその他有価証券評価差額金の減少1,442百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月11日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,248	32,676
受取手形及び売掛金	8,337	6,763
たな卸資産	6,178	6,743
その他	6,735	7,864
貸倒引当金	△134	△145
流動資産合計	62,365	53,901
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	7,598	8,740
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	15,251	15,861
土地	24,497	26,103
その他(純額)	7,135	5,401
有形固定資産合計	54,484	56,106
無形固定資産		
のれん	405	288
その他	5,956	5,804
無形固定資産合計	6,361	6,092
投資その他の資産		
投資有価証券	18,998	26,405
敷金及び保証金	13,060	13,454
その他	4,355	5,149
貸倒引当金	△146	△142
投資その他の資産合計	36,268	44,866
固定資産合計	97,113	107,066
資産合計	159,479	160,968

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,540	5,169
短期借入金	4,836	4,934
未払法人税等	4,524	2,954
賞与引当金	1,063	1,005
その他	12,419	10,173
流動負債合計	27,384	24,237
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,151	13,422
退職給付引当金	3,683	4,040
役員退職慰労引当金	2,088	2,239
その他	1,856	1,911
固定負債合計	31,780	31,613
負債合計	59,164	55,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	6,026	6,026
利益剰余金	78,119	84,135
自己株式	△5	△5
株主資本合計	96,490	102,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,646	2,203
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△100	56
その他の包括利益累計額合計	2,768	1,482
少数株主持分	1,056	1,127
純資産合計	100,315	105,117
負債純資産合計	159,479	160,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	96,621	98,878
売上原価	56,018	57,455
売上総利益	40,602	41,423
販売費及び一般管理費	25,447	25,738
営業利益	15,155	15,685
営業外収益		
受取利息	509	704
受取協賛金	373	372
受取補償金	—	283
為替差益	928	—
その他	583	744
営業外収益合計	2,394	2,104
営業外費用		
支払利息	220	220
為替差損	—	172
その他	169	159
営業外費用合計	389	552
経常利益	17,160	17,237
特別利益		
固定資産売却益	32	18
その他	—	0
特別利益合計	32	18
特別損失		
固定資産処分損	198	204
減損損失	78	64
その他	—	2
特別損失合計	276	271
税金等調整前四半期純利益	16,917	16,985
法人税、住民税及び事業税	6,678	6,994
法人税等調整額	185	18
法人税等合計	6,863	7,012
少数株主損益調整前四半期純利益	10,053	9,972
少数株主利益	59	74
四半期純利益	9,994	9,898

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,053	9,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,275	△1,442
為替換算調整勘定	18	156
その他の包括利益合計	1,293	△1,285
四半期包括利益	11,346	8,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,287	8,612
少数株主に係る四半期包括利益	59	74

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	48,573	34,450	7,787	90,811	5,809	96,621	—	96,621
セグメント利益 (営業利益)	9,644	5,780	960	16,385	960	17,346	△2,190	15,155

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,190百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	50,323	35,657	7,550	93,530	5,347	98,878	—	98,878
セグメント利益 (営業利益)	10,714	5,462	642	16,820	1,016	17,836	△2,151	15,685

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業(衛星放送事業を改称)、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,151百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。